



学校だより 6月号

横浜市立日下小学校 令和5年 5月31日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

もてる力を発揮するために…

副校長 沖なおみ

初夏を感じさせる風に蒸し暑さを感じたと思えば、季節が逆戻りしたような肌寒さに思わず身をすくめてしまうこの頃です。早いもので明日より6月、プール開きが始まる季節がやってきました。

5月が過ぎ、高学年の児童が委員会活動で活躍しています。例えば、給食室の近くの廊下には、掲示委員会が作った着任職員の紹介が掲示されました。写真とともにインタビューの内容が掲載されています。インタビューの内容は一人ひとりが違うもので、興味を引くようにクイズ形式になっていました。職員の名前と顔が覚えられるだけでなく、職員に関心ももてるようになってきました。児童が行き交う場所で多くの児童の目に留まりますが、あるときは、保健室での検診を終えた1年生の児童が、足を止めて見入っていました。クイズが気になったそうです。放課後には、職員も楽しそうに読んでいる姿がありました。

職員紹介といえば、今年度も広報誌に掲載していただく予定です。その中のアンケートに、「小学生の頃に流行った遊びは？」というのがありました。さて、今の子どもたちの流行の遊びは、一体何でしょうか。おそらく一つには、「ゲーム」が挙げられるのではないかと思います。

いわゆる「ファミコン」が市場に出て、子どもたちの遊びとして流行ってきた頃の話に遡ります。宝物を聞いていた時のこと、Aさんは「ファミコン」と言いました。Bさんは「お母さん」と言いました。するとAさんはちょっとムスツとして、「やっぱやめた」と言いました。「じゃあ何？」みんなの関心を集め、Aさんが言い直したのは、「い・ろ・み・ず」でした。ファミコンを越えたものを期待した流れで、それが「いろみず」でしたので、色水？と、意外な宝物ではありませんでしたが、色水最高と言わんばかりに、子どもたちは一様に笑顔になりました。ファミコンよりも色水が勝った瞬間でした。

もちろん、宝物は「ファミコン」でもいいのです。子どもたちの宝物は大事にしたいものです。しかしながら、子どもたちを取り巻く環境がどんどん多様になっている今の時代に、考えさせられることはたくさんあります。ゲームを行う上で約束や注意はとても大切です。ゲームに依存したり、ゲーム上で友達とトラブルになったりすることがないように、気を付けなければなりません。そこで、ゲームの取捨選択はご家庭での判断になりますが、ゲームをさせる場合は、遊ぶ時間や内容について、是非、お子様と約束や注意をお話しくくださいますようお願いいたします。

学校では、校内での過ごし方や学習マナーがしっかりと守られるように、指導をしていきます。